



天地誠敬信(天地誠敬信)の地界觀(地界觀)に現れた東西洋 地觀(地觀)の再活性化

Revitalization of East-West Views in Cheonji-Seonggyeongsin

目次

- 1 天地誠敬信および地観の概念
天・地・人・神の相互作用の世界観とその哲学的意味
- 2 東洋地観の特徴と事例
天地誠敬信に基づく統合的アプローチと歴史的実践事例
- 3 西洋地観の特徴と事例
デカルト、ライプニッツなどの哲学的空間観と都市計画
- 4 東西洋地観の比較
全体論的観点と個体論的観点の差異と影響
- 5 現代的再活性化の論点
都市計画、環境政策における伝統的地観概念の融合と復元
- 6 結論および示唆点
気候危機および複合社会における地観の未来的意義

天地誠敬信および地観の概念



天地誠敬信(天地聖敬神)

- 天(天)と地(地)、人間(聖)、神(神)の有機的相互作用を強調する東アジア特有の自然観・宗教・哲学・政治・行政が結合した統合的世界観として実践的具現を重視
- 人間と自然、神明(神明)が相互に連結され調和をなす全体論的体系



地観(地観)

- 単なる物理的空間ではなく、世界の秩序・共同体文化に影響を及ぼす場所概念・天
- 、自然、人間、神が出会う接点としての地に対する認識体系
- 国家行政、祭儀、宗教、生活世界において統合的に作動する社会文化的実体

東洋地観の特徴および事例

○ 天地誠敬信に基づく統合的アプローチ

- 自然(天地)・人間・神(神)の調和を中心とする全体論的世界観
- 場所と空間に内在する神性(神性)と気(氣)の流れを重視

⌚ 統治/祭儀/行政に反映された地観

- 国家儀礼、都城および宮闕の配置に反映された天地観
- 念帝王の統治行為と民間儀礼における地観の実践的具現

🕒 古代中国三皇五帝

禹任公(禹任公)の治水事業と土地区画は、天地誠敬信の地観が反映された古代統治の代表的事例

⌚ 朝鮮半島王朝の事例

三国時代から朝鮮まで続いた風水地理と明堂論に基づく都市計画および王室儀礼

🔄 現代的復元の試み

韓国伝統空間の現代的再解釈と地観概念を接木した都市計画および文化遺産復元事業

西洋地観の特徴および事例



哲学的基盤と世界観

- デカルトの二元論(Cogito ergo sum)ー精神と物質の分離に基づく主体-客体中心の空間観
- ライプニッツのモナド論(單子論)ー個体の独立性と自足性に基づく実体論的世界認識
- 神論(pantheism)とアリストテレスの四元素説ー神/自然と物質の関係設定



事例と現代的影響

- 古代ギリシャ・ローマの神殿と都市設計ー神聖性と幾何学的秩序の結合
- 近代以降の都市計画ー機能性と効率性中心の空間構成と自然の道真的活用現代
- 環境哲学と都市計画における変化ー持続可能性と場所性の回復のための努力

比較、再活性化の論点および結論



東西洋地観の比較

区分	東洋地観	西洋地観
哲学的基盤	天地誠敬信、陰陽五行、全体論的世界観	デカルトの二元論、ライプニッツの個体論
空間認識	内在的・凝縮的地観、関係的场所	質料的地観、物質対象としての空間



現代的再活性化

- 都市計画:生態的都市空間、共同体活性化を志向する空間設計に伝統地観
 - を接木 環境政策:自然と人間の共存、相互作用を強調する生態的観点の導
 - 入
- 東西洋地観の融合:西欧的効率性と東洋的調和を結合した新しい空間文化の模索



未来的意義と示唆点

- 気候危機対応:天地誠敬信の全体論的世界観を通じた気候変動危機意識の涵養
- 超連結社会:物理的・デジタル空間の融合に東西洋地観の統合パラダイム提示
- 持続可能な発展:人間・自然・空間の相生的関係を追求する新しい価値観の必要性